

鳥取市の教育に関する
インターネットモニターアンケート
調査結果

- 1 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ～ 2
- 2 アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・ 3 ～ 21

平成28年2月

鳥取市教育委員会事務局教育総務課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

現在、鳥取市教育委員会では平成28年度～32年度の5年間を計画期間とした「鳥取市教育振興基本計画」の策定を進めています。

本アンケートは、計画策定に伴い市民の皆様の教育に関する意識や要望を把握し、今後の教育行政に役立てることを目的としています。

(2) 調査方法

① 調査対象

平成27年度鳥取市インターネットモニター 100人

② 調査方法

インターネットを利用して送信

(3) 調査期間

平成28年1月28日（木）から平成28年2月7日（日）まで

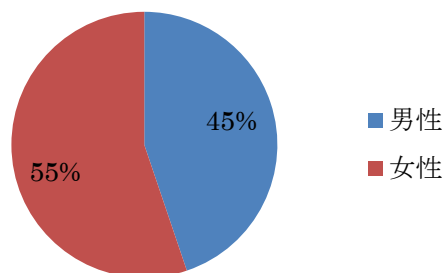
(4) 回答者数

87人（87%）

(5) 回答者状況

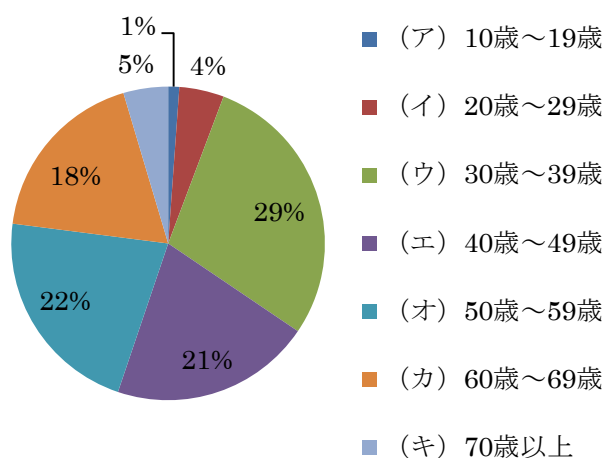
①性別

選択肢	回答数	割合
男性	39	45%
女性	48	55%
合計	87	100%



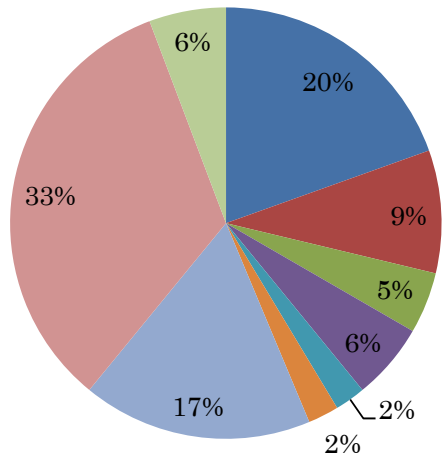
②年齢

選択肢	回答数	割合
(ア) 10歳～19歳	1	1%
(イ) 20歳～29歳	4	5%
(ウ) 30歳～39歳	25	29%
(エ) 40歳～49歳	18	21%
(オ) 50歳～59歳	19	22%
(カ) 60歳～69歳	16	18%
(キ) 70歳以上	4	5%
合計	87	100%



③職業

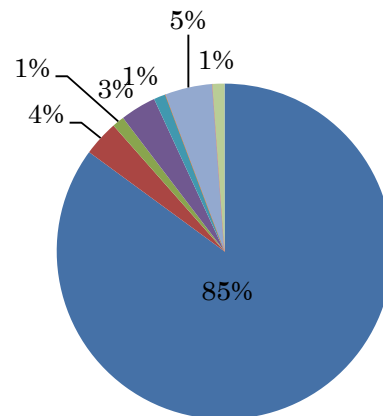
選択肢	回答数	割合
(ア) 会社員(正社員)	17	20%
(イ) 会社員(契約社員/派遣社員)	8	9%
(ウ) 自営業	4	5%
(エ) 公務員	5	6%
(オ) 団体職員	2	2%
(カ) 学生	2	2%
(キ) パート、アルバイト	15	17%
(ク) 無職	29	33%
(ケ) その他	5	6%
合計	87	100%



- (ア) 会社員(正社員)
- (イ) 会社員(契約社員/派遣社員)
- (ウ) 自営業
- (エ) 公務員
- (オ) 団体職員
- (カ) 学生
- (キ) パート、アルバイト
- (ク) 無職
- (ケ) その他

④お住いの地域

選択肢	回答数	割合
(ア) 鳥取地域	74	85%
(イ) 国府地域	3	3%
(ウ) 福部地域	1	1%
(エ) 河原地域	3	3%
(オ) 用瀬地域	1	1%
(カ) 佐治地域	0	0%
(キ) 気高地域	4	5%
(ク) 鹿野地域	0	0%
(ケ) 青谷地域	1	1%
合計	87	100%



- (ア) 鳥取地域
- (イ) 国府地域
- (ウ) 福部地域
- (エ) 河原地域
- (オ) 用瀬地域
- (カ) 佐治地域
- (キ) 気高地域
- (ク) 鹿野地域
- (ケ) 青谷地域

(6) 調査結果の数値について

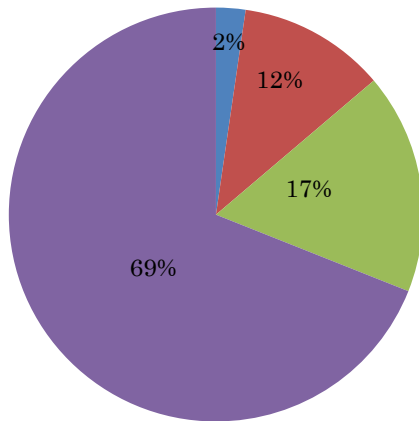
百分率(%)は小数点以下を四捨五入しているため、表及びグラフの合計が100%とならない場合があります。

2 アンケート調査結果

Q1. 鳥取市教育振興基本計画について

あなたは、鳥取市教育振興基本計画を知っていますか（1つ選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) 計画や概要版などを読んだことがある	2	2%
(イ) 計画内容の一部を見たり聞いたりしたことがある	10	11%
(ウ) 計画があることは知っているが内容については知らない	15	17%
(エ) 知らなかった	60	69%
合計	87	100%

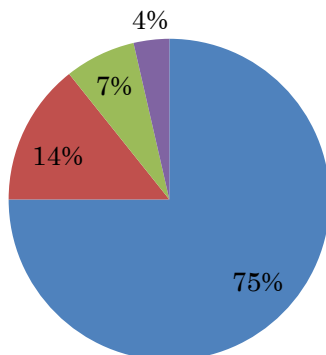


- (ア) 計画や概要版などを読んだことがある
- (イ) 計画内容の一部を見たり聞いたりしたことがある
- (ウ) 計画があることは知っているが内容については知らない
- (エ) 知らなかった

Q2. 鳥取市教育振興基本計画を知った経緯について（Q1で（エ）以外を選んだ方のみ）

あなたは、鳥取市教育振興基本計画を何で知りましたか（1つ選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) 鳥取市広報紙(とっとり市報)	21	75%
(イ) 鳥取市ホームページ	4	14%
(ウ) 基本計画の概要版・リーフレット等	2	7%
その他	1	4%
合計	28	100%



- (ア) 鳥取市広報紙(とっとり市報)
- (イ) 鳥取市ホームページ
- (ウ) 基本計画の概要版・リーフレット等
- その他

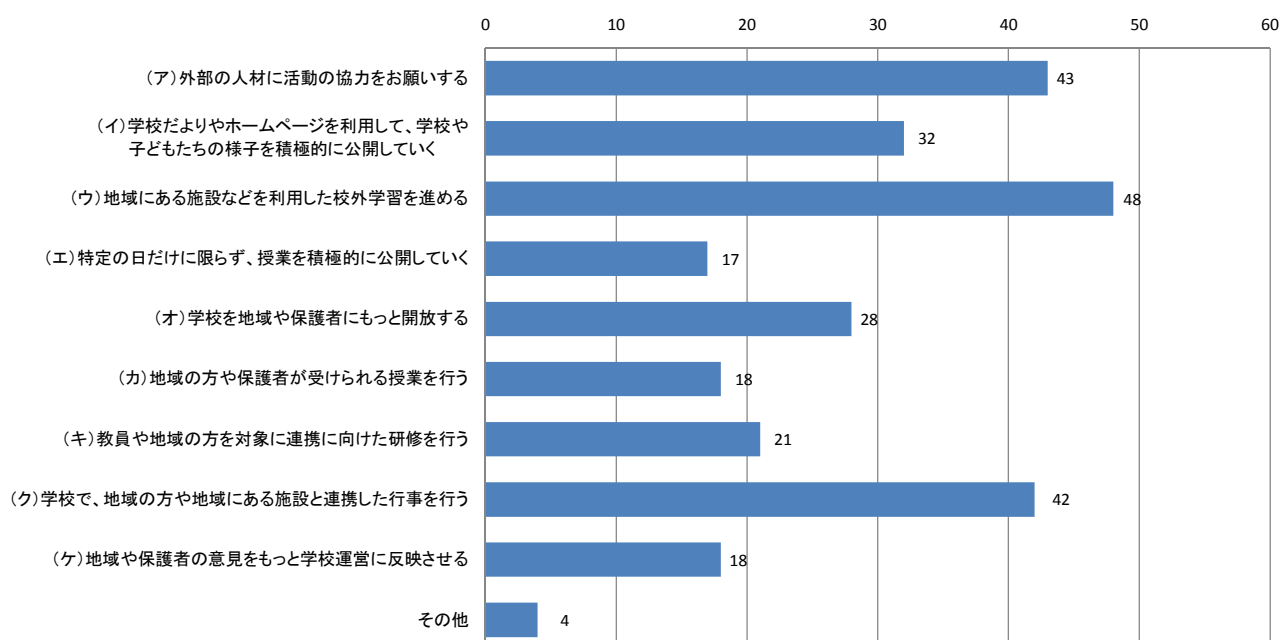
その他

○このアンケートのメール本文で読んだ。それにより知った。

Q3. 学校が地域と連携していくための取り組みについて

学校が地域社会の一員として地域に開かれ、共に育っていくためにはどのような取り組みが必要だと思いますか（いくつでも選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) 外部の人材に活動の協力をお願いする	43	16%
(イ) 学校だよりやホームページを利用して、学校や子どもたちの様子を積極的に公開していく	32	12%
(ウ) 地域にある施設などを利用した校外学習を進める	48	18%
(エ) 特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開していく	17	6%
(オ) 学校を地域や保護者にもっと開放する	28	10%
(カ) 地域の方や保護者が受けられる授業を行う	18	7%
(キ) 教員や地域の方を対象に連携に向けた研修を行う	21	8%
(ク) 学校で、地域の方や地域にある施設と連携した行事を行う	42	15%
(ケ) 地域や保護者の意見をもっと学校運営に反映させる	18	7%
その他	4	1%
合計	271	100%



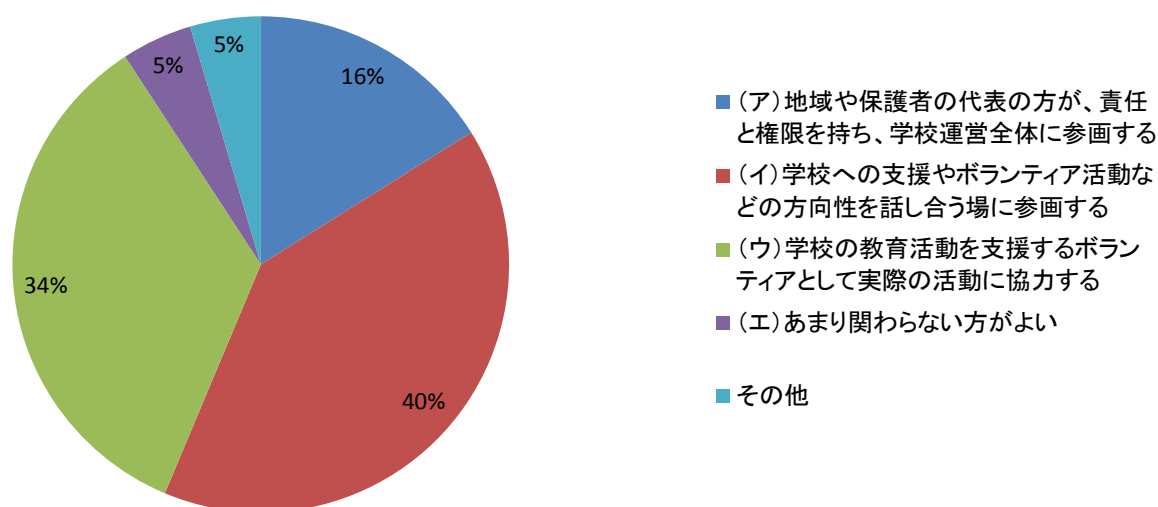
その他

- 個々の教師が地域の文化・風土・人に関心を持ち理解（知る）することが前提となる。その上で、教育課程の中に適切に地域を教材化して位置づけることが重要だと考えます。思いつきの取り組みは、地域にとっても迷惑なだけです。
- 最近の報道で教師が多忙で生徒一人にかかる手間が手薄と聞きます。車社会の進展に伴い更に学校統合して一校あたりの学校事務職員、看護・図書司書など充実させては如何でしょうか、いわば生産性を上げるわけです。
- 学校内での情報を積極的に公開して、学校は教育に対して真剣に取り組む
- 小学生、中学生は、家庭や学校以外に、自分を出せる場所があると精神的に安定したり、自信が持てたり、救われたりするのではないかと思います。習い事や、ボランティア、その他。その場所を知る術を伝えられる機会があるといいと思います。

Q4. 地域・保護者の方の学校への関わり方について

地域・保護者の方の学校への関わり方で良いと思うものはどれですか（1つ選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) 地域や保護者の代表の方が、責任と権限を持ち、学校運営全体に参画する	14	16%
(イ) 学校への支援やボランティア活動などの方向性を話し合う場に参画する	35	40%
(ウ) 学校の教育活動を支援するボランティアとして実際の活動に協力する	30	34%
(エ) あまり関わらない方がよい	4	5%
その他	4	5%
合計	87	100%



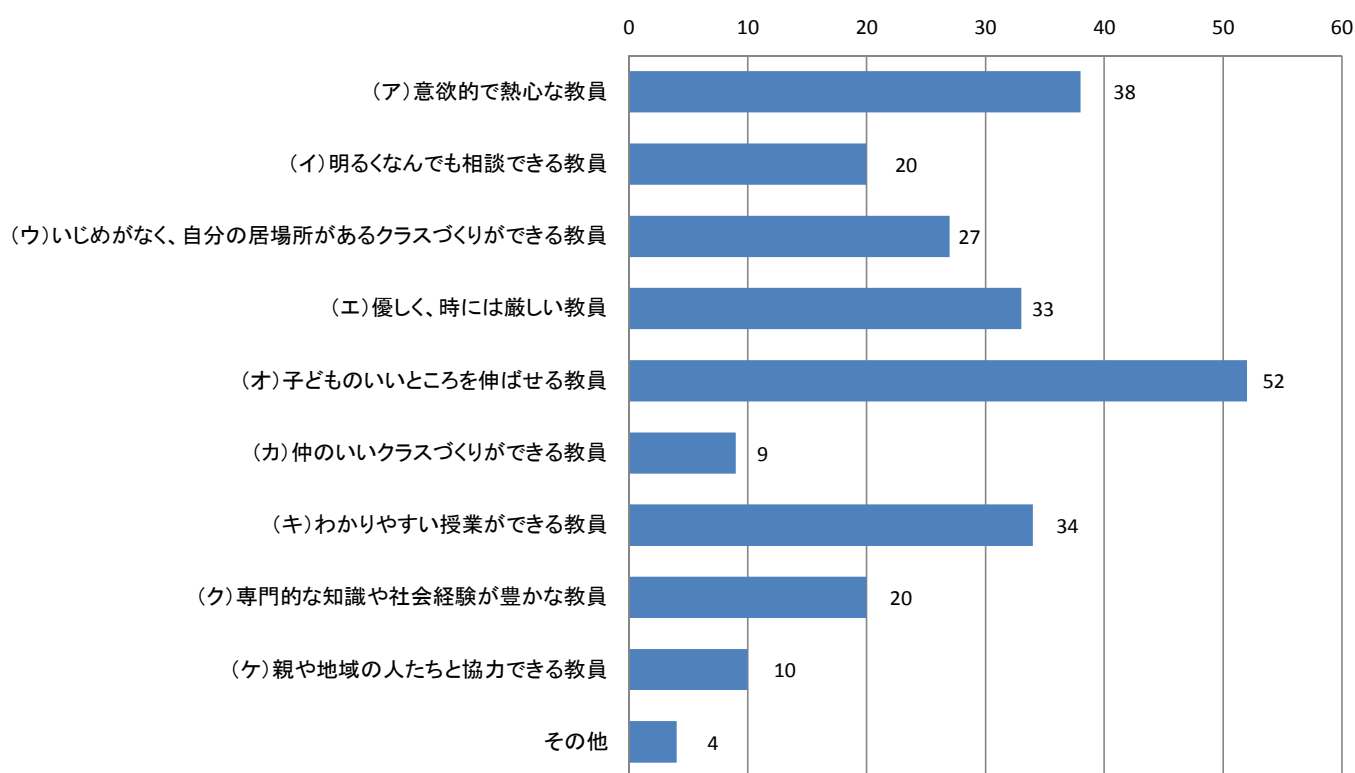
その他

- 地域の学校の良さや課題を理解（知る）することが前提となる。そのためには、地域の方が誇れるような魅力ある学校である必要がある。それらの条件が整えば、自然発生的に地域・保護者が関わる場面も必然的に増えると考え
- 学校に対して保護者がモンスター化しないようにする
- 学校の教育活動を支援する活動に協力するが、無償ボランティアのみではなく、内容によっては有償でも良いと思う。
- Q3につながる情報は生徒に伝えるために地域住民の参加は賛成ですが、保護者の学校への関わりが多すぎると思います。最小限にとどめるほうが生徒にとって幸いな気がします。

Q5. 教員のあり方について

あなたが考える望ましい教員とはどのようなものですか（3つまで選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア)意欲的で熱心な教員	38	15%
(イ)明るくなんでも相談できる教員	20	8%
(ウ)いじめがなく、自分の居場所があるクラスづくりができる教員	27	11%
(エ)優しく、時には厳しい教員	33	13%
(オ)子どものいいところを伸ばせる教員	52	21%
(カ)仲のいいクラスづくりができる教員	9	4%
(キ)わかりやすい授業ができる教員	34	14%
(ク)専門的な知識や社会経験が豊かな教員	20	8%
(ケ)親や地域の人たちと協力できる教員	10	4%
その他	4	2%
合計	247	100%



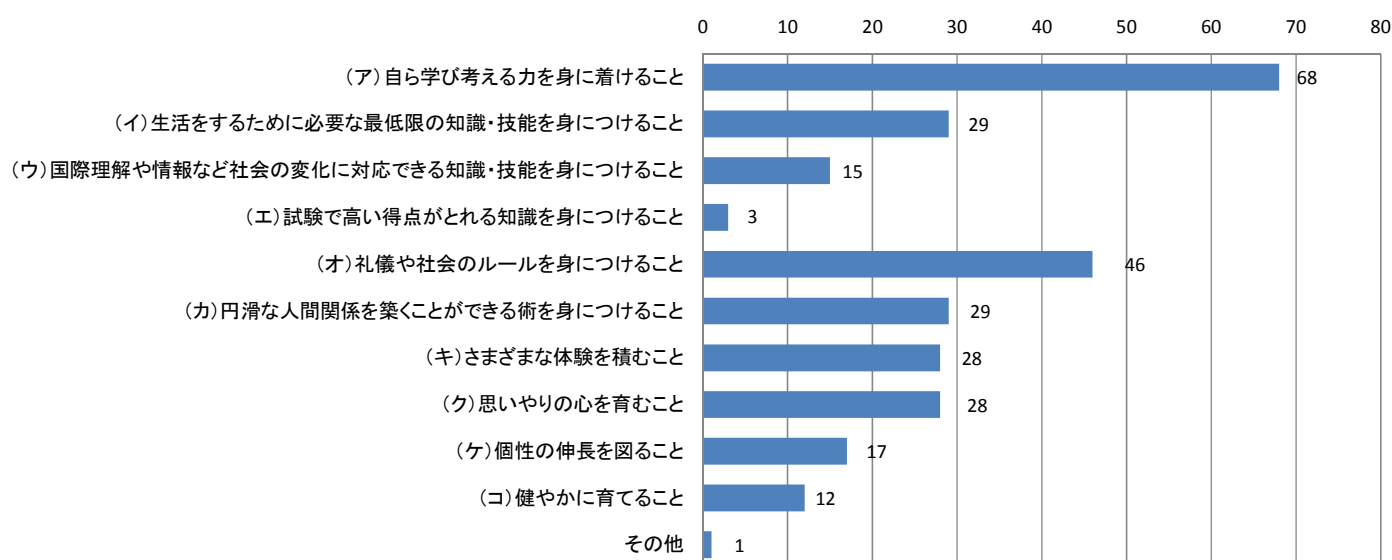
その他

- 子供に対する性癖がない事
- 子どもの状況を的確に判断して、適切な対処ができる教員
- 教員は大変疲弊していると思います。世論も保護者も強すぎます。私のころの教員は出来不出来はさておき雲も上の存在に近いものがありました。気の毒な部分もあります。
- 広い目で見守ることのできる教員
- 自身を客観視できる教員
- 生徒の未来を第一に考える教員

Q6. 子どもの教育について

あなたが小中学校の子どもの教育に必要なと思うことはなんですか（3つまで選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) 自ら学び考える力を身に着けること	68	25%
(イ) 生活をするために必要な最低限の知識・技能を身につけること	29	11%
(ウ) 国際理解や情報など社会の変化に対応できる知識・技能を身につけること	15	5%
(エ) 試験で高い得点がとれる知識を身につけること	3	1%
(オ) 礼儀や社会のルールを身につけること	46	17%
(カ) 円滑な人間関係を築くことができる術を身につけること	29	11%
(キ) さまざまな体験を積むこと	28	10%
(ク) 思いやりの心を育むこと	28	10%
(ケ) 個性の伸長を図ること	17	6%
(コ) 健やかに育てること	12	4%
その他	1	0%
合計	276	100%



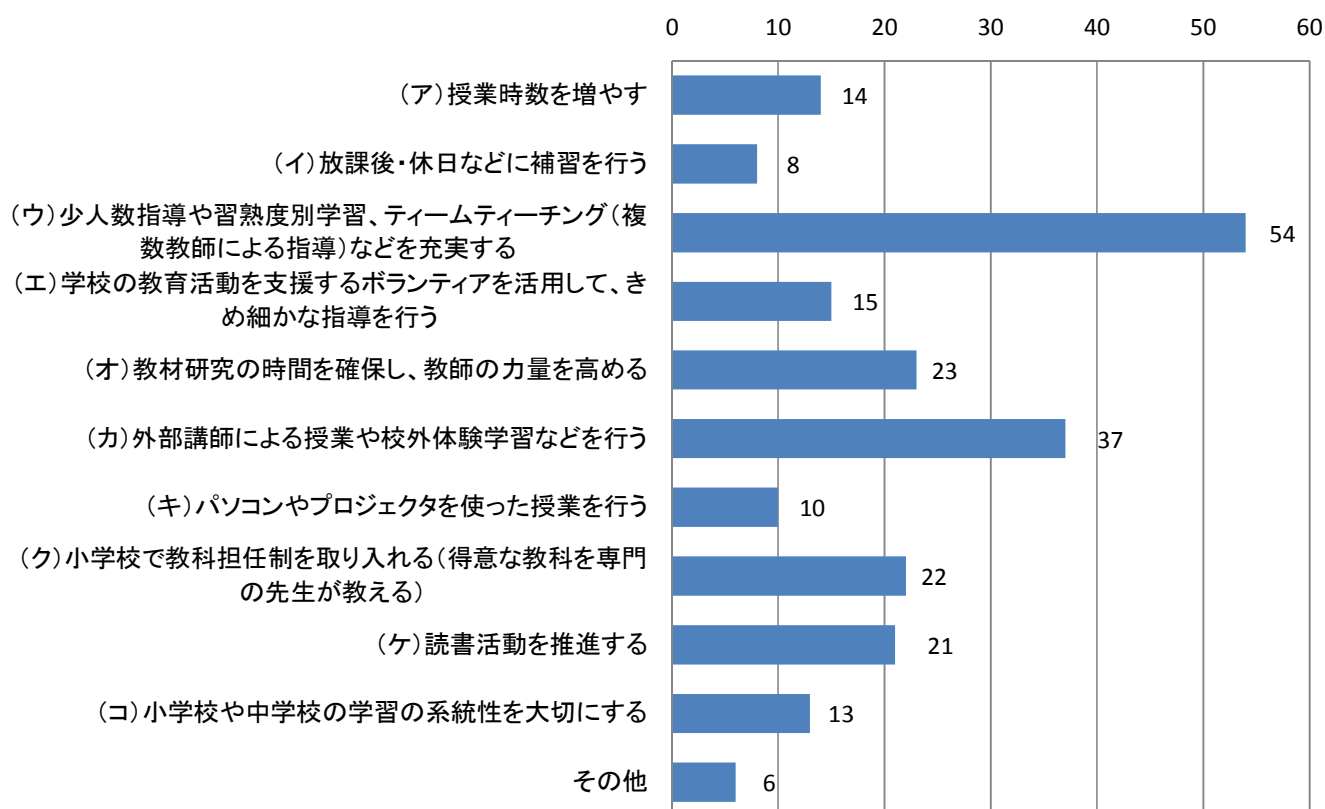
その他

○教員や保護者を含め、いろいろな考えを持つ人間が存在することを知ること。それが自分にとって反するものであったり、共感するものであったりしても、個人を認めることができるようになること。

Q7. 学校教育における取り組み体制について

子どもの「基礎的学力」を高めるために、学校教育ではどのような取り組み体制が必要だと思いますか（3つまで選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) 授業時数を増やす	14	6%
(イ) 放課後・休日などに補習を行う	8	4%
(ウ) 少人数指導や習熟度別学習、チームティーチング（複数教師による指導）などを充実する	54	24%
(エ) 学校の教育活動を支援するボランティアを活用して、きめ細かな指導を行う	15	7%
(オ) 教材研究の時間を確保し、教師の力量を高める	23	10%
(カ) 外部講師による授業や校外体験学習などを行う	37	17%
(キ) パソコンやプロジェクタを使った授業を行う	10	4%
(ク) 小学校で教科担任制を取り入れる（得意な教科を専門の先生が教える）	22	10%
(ケ) 読書活動を推進する	21	9%
(コ) 小学校や中学校の学習の系統性を大切にする	13	6%
その他	6	3%
合計	223	100%



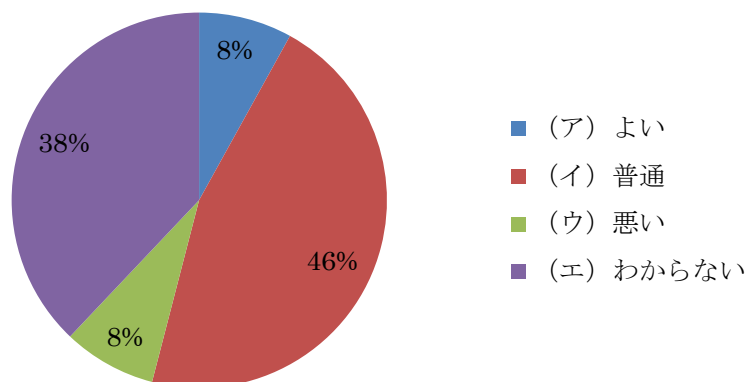
その他

- 戦前の教育をみなおす。
- 読み・書き・計算の力を確実に定着させるように、繰り返し学習を継続させる。これらの力がととのはないと、学力が積み上がっていかない。
- 教師が、子供に分かりやすい教え方を出来るようになる
- 子供が興味を持つような授業内容にする。
- 良く解りません
- 生徒や保護者に対して、学校側が、学校の方針を明確にして、ぶれないこと。

Q8. 鳥取市の教育について

鳥取市では学校施設・設備の改修や、いじめ対策・不登校支援など教育についてさまざまな取り組みを行っています。これらの取り組みについて、あなたの評価に一番近いものを選んでください（1つ選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) よい	7	8%
(イ) 普通	40	46%
(ウ) 悪い	7	8%
(エ) わからない	33	38%
合計	87	100%



Q9. Q8 での評価についてのご意見

Q8 でのあなたの評価について、具体的なお意見があれば自由に記載してください。

(ア) よい

○具体的な内容がわからないので評価しようがない

(イ) 普通

○優秀な人材を確保すること。適正に評価し、いきを感じて働ける熱心な教師集団となることが重要だと考えます。地域住民に、その熱が伝わることを望んでいます。

○新聞報道などで情報が少ないので、普通しか判断できない。

○学校施設・整備の改修は進みつつあると思う。いじめ対策・不登校支援については学校によって取り組み方が違うと思い、全体を一概には評価しにくい。不登校が増えていると聞く。どんな対策をしているのか、我が子が通う中学校の取り組みすら知らない現状はいかがなものかと思う。学校は保護者に知らせていない。

○先生の技量により差があることと、学校内で穏便に済ませようとする隠蔽性をなくすためにもサポートできる第三者の存在が必要

○地域住民にも情報を公開してみんなで解決する。

○いじめ対策や不登校支援などはまだまだ細かな対応は出来ていないと思います。

○子女が独立し、老々世帯となってすでに25年以上となり、客観的な評価ができる状況にない。

○不登校支援に力を入れてほしいです。

○特にありません。

○不登校が多いのはなぜでしょうか。理解に苦しむところです。

○いじめが原因での自殺があっても、それが教育する側に把握されていないことが多い。十分な目配りが必要と思う。

(ウ) 悪い

○教育設備の更新が全く無い。柵に、穴が空いている。植栽の管理が、全くされて無く伸び放題になっている。

○自分の子どもが中学生の時は、子供との会話から学校の様子も多少わかりました。当時は不登校

生徒がいたようだ程度は、わかりました。しかし子供が卒業してしまうと全然内部事情がわかりません。よって現在は評価の仕様がありません。

○娘の通う小学校は校舎が古いため、特にトイレに行きたがらない。

冬場は寒くて勉強に集中できない。→学力の低下にならないか心配。

掃除してきれいになる次元ではないと思う。

耐震改修はされたが、校舎自体の老朽化が気になる。

グラウンド、玄関前の駐車場などの水はけが悪すぎる。→体育の授業に悪影響。

ぜひ対策をお願いします。

いじめや不登校の対策がなされているのかどうかは分かりません。

○実際、どのような取り組みをしているか分からないから。

○子ども達の問題に、どれだけ真剣に取り組んでいるのか疑問が多いから。

(エ) わからない

○どのようなところを具体的に行っていて、どのような成果をあげているのか見聞きしたことがないので、評価のしょうがない。

○義務教育から何年も離れていて現状を知らないため

○あまり見えませんでした。

○教員間のいじめパワハラが現存しているのに生徒に対してのいじめ対策は期待できない。

○具体的な取り組みについてよく知らないので評価できません。

○他県の状況がわからないのでわかりません。

○市や学校が具体的にどういう取り組みをしているのか知らないから

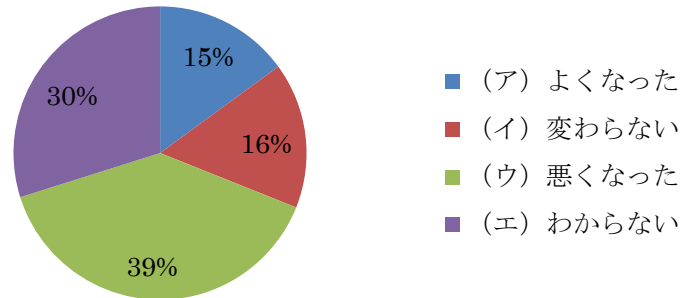
○実際の取り組みが見えない様な気がします

○（調べていないので、鳥取にも存在がするかもしれませんが）他県の情報です。不登校でも、その施設（視聴覚ライブラリー）や個人塾（認定が必要）などに日参することで、登校扱いになると聞きました。

Q10. 子どもを取り巻く環境の変化について

現在、子どもの学力・食生活などについてはもちろんのこと、保護者や地域の子どもへの関わり方や学校の安全性についてなど、子どもを取り巻く環境は昔と大きく変わってきています。これらの変化について、あなたの評価に一番近いものを次から選んでください（1つ選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア)よくなった	13	15%
(イ)変わらない	14	16%
(ウ)悪くなった	34	39%
(エ)わからない	26	30%
合計	87	100%



Q11. Q10 での評価についてのご意見

あなたの評価について、具体的なお意見があれば自由に記載してください。

(ア) よくなった

- 特になし。
- 食生活で 地産地消をお心がけ 時を考えたメニューになっていると思う。
- 30年前よりは確かによくなっていると感じる。
- Q9と同じく評価について自信がない。「何となく感じる」程度の評価である。
- 昔と比較して犯罪の件数自体は減少している。
- 地域の子どもに対する地区の取り組み、行事に積極的な動きを感じる。

(イ) 変わらない

- 社会が悪い・時代が悪いといっても何も始まらない。その時代、その地域に相応しい教育があります。要は前向きに取り組む実践力が大切だと考えます。
- 少子化により、大人と子供の関わりが、少なくなった。
- 食生活（学校給食）についてですが、子供はご飯がベチャベチャでまずかったと言っておりました。小学生の時は他県在住でしたので調理の仕方がずいぶん違っていたようです。個別のアルミ箱で調理・配膳される中学校でした。家で炊く鳥取米はおいしいのに、残念でした。

(ウ) 悪くなった

- こどもは変わらないと思うが、時代が変わって、大人が模索している感じがする。
- 親の質
- 家庭状況の変化も大きい。自分が子供だったときに比べ、学童保育の利用率、需要が高くなっている。今は一人で下校することも危険な時代。学校が保育を担う必要はないが、市・県レベルで子供を育てれる環境作りをすることが少子化・過疎化対策に繋がると思う。
- Q10の質問の意味がよく分からない。学校に対してなのか、家庭に対してなのか。ただ、家庭に関しては二極分化がはなはなだしい。家庭も子どもが中心ではなく、大人が中心。学校も子どもが中心ではなく教員が保護者が中心になっている。
- 関わり方は変わらないと思うが、学力低下と、自宅での食生活が悪くなった

- 学校が閉鎖的になっているので、地域との関わりも薄くなっていると感じています。
- 親の意識、モラルが悪くなった。 送り迎えをしている。
- 集団の中で、評価を恐れて子どもも教師も本来の姿を出せていないと感じる
- 自主性が少ない。協調性がない。夢を持っていない子が多い。
- 子供が外で一人で遊べる環境ではないと思う。
- 現在は、自分の家の子供でなければ、関与しない風潮があると思いますが、本来は、是正すべきだと思います。
- スマートフォンの普及により、持っている人、いない人と格差が出てきてしまう。
- 特にありません。
- 近年は保護者の意見が強くなり、教員が疲弊していると感じることがある。個々の教員の能力を最大限引き出せるよう、保護者も言動を考えるべき。
- 学校、教員、地域環境、すべてにおいて大らかさがなくなり許容量が小さくなった。規制ばかりで、もっと自由に遊ぶことができたらと思う。
- 近くの公園も不審者情報などがあると一人ではいかせられない。
- 親や大人が手本になるような事をしていないと感じるから。

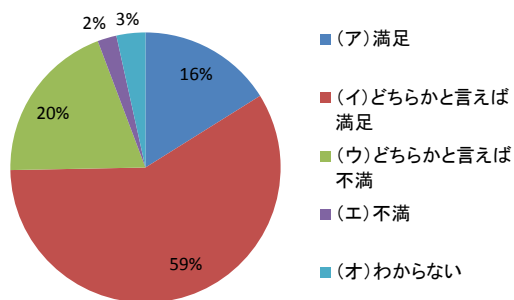
(エ) わからない

- 大きく変わったことに対してどのように対応していこうとしているのか分からない。
- 良くなった点もあるし悪くなった点もあるから
- 安全を重視するためか、自家用車での登下校がはたして子供にとって良いことでしょうか？登下校において自分で判断する力が身につくのでは？

Q12. 余暇の過ごし方について

あなたは現在のご自分の生活での余暇の過ごし方について、どのくらい満足していますか(1つ選択)。

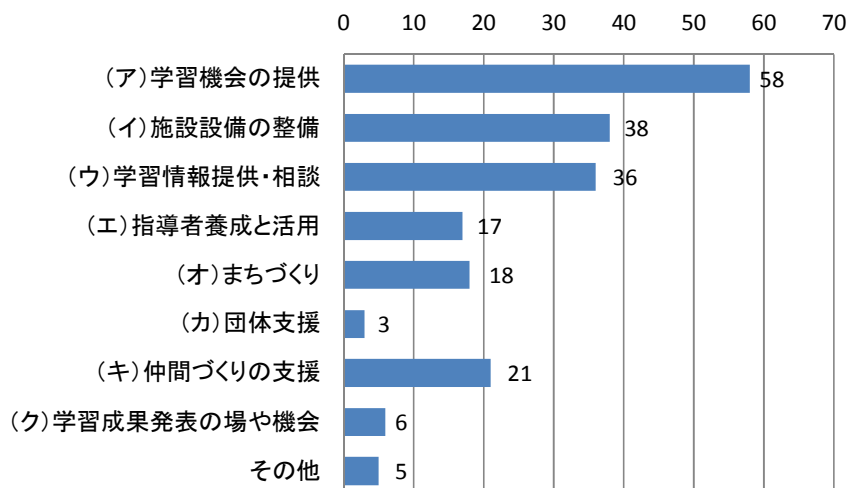
選択肢	回答数	割合
(ア) 満足	14	16%
(イ) どちらかと言えば満足	51	59%
(ウ) どちらかと言えば不満	17	20%
(エ) 不満	2	2%
(オ) わからない	3	3%
合計	87	100%



Q13. 生涯学習の推進について

生涯学習を推進するために、行政は特に何を充実させるべきだと思いますか(3つまで選択)。

選択肢	回答数	割合
(ア) 学習機会の提供	58	29%
(イ) 施設設備の整備	38	19%
(ウ) 学習情報提供・相談	36	18%
(エ) 指導者養成と活用	17	8%
(オ) まちづくり	18	9%
(カ) 団体支援	3	1%
(キ) 仲間づくりの支援	21	10%
(ク) 学習成果発表の場や機会	6	3%
その他	5	2%
合計	202	100%



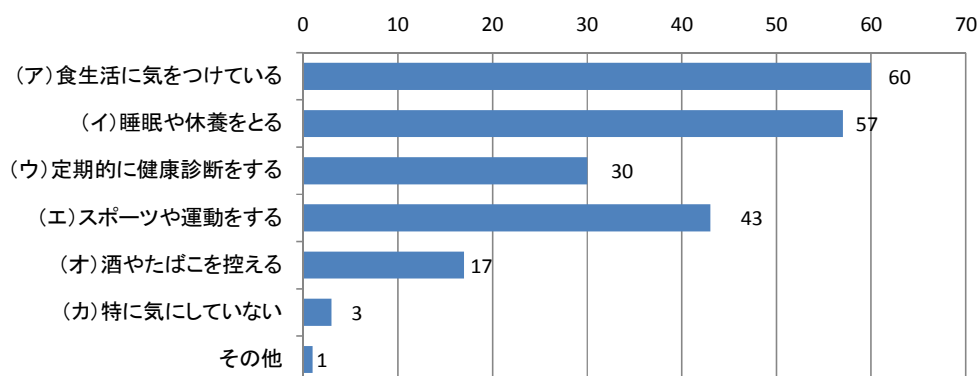
その他

- インターネットを使った学習
- 生涯学習につながるサークル、学習機会情報を市報に折り込むなど広報インフラの充実
- 情報の発信。あくまで強制でない推進を望む。
- 現状、あまり十分な余暇時間がない中で自主的に機会を捉えて余暇を利用しているという自負がある。格別な要望はない。
- 無料で芸術鑑賞（絵画、音楽、演劇など）ができるとありがたい。

Q14. 健康・体力づくりについて

あなたが健康・体力づくりのために行っていることはありますか（3つまで選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) 食生活に気をつけている	60	28%
(イ) 睡眠や休養をとる	57	27%
(ウ) 定期的に健康診断をする	30	14%
(エ) スポーツや運動をする	43	20%
(オ) 酒やたばこを控える	17	8%
(カ) 特に気にしていない	3	1%
その他	1	0%
合計	211	100%



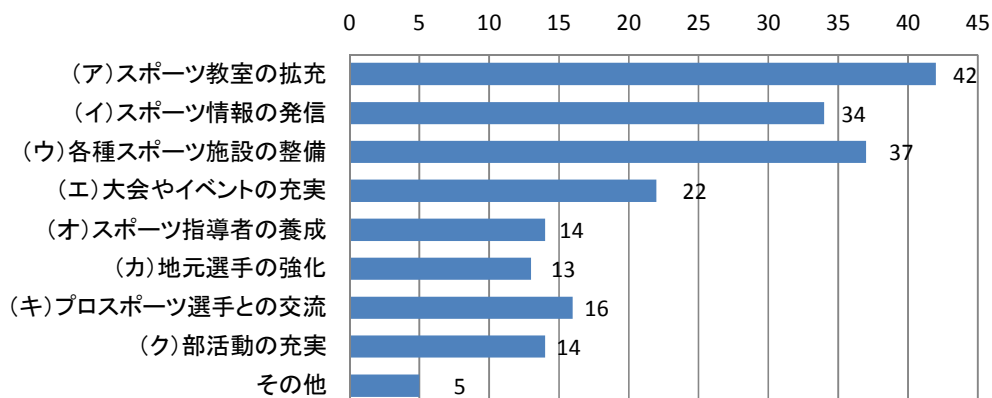
その他

○我慢しきれないほど体調を崩したときには鍼灸やマッサージなどに行く

Q15. スポーツや運動に関する事業について

あなたが鳥取市に積極的に実施してほしいと思う、スポーツや運動に関する事業はありますか（いくつでも選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) スポーツ教室の拡充	42	21%
(イ) スポーツ情報の発信	34	17%
(ウ) 各種スポーツ施設の整備	37	19%
(エ) 大会やイベントの充実	22	11%
(オ) スポーツ指導者の養成	14	7%
(カ) 地元選手の強化	13	7%
(キ) プロスポーツ選手との交流	16	8%
(ク) 部活動の充実	14	7%
その他	5	3%
合計	197	100%



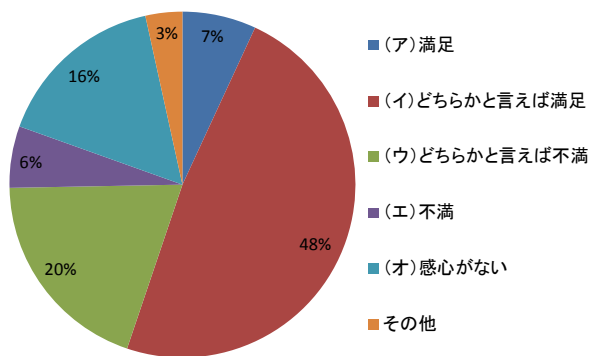
その他

- 現状の悪さ加減が不明なので、判断できません。
- 小さな子や普段運動をしない人でも気軽に参加できるイベント
- 現状、スポーツ関係には多くの関わりがあり、自分の時間が制約される状況にある。却って、自分自身の自由な時間が欲しいと思うほどである。今以上に要望することはない。
- 自転車道の整備
- 個人的にケーブルテレビを利用していませんが、ケーブルや地方テレビがもう少し学生の試合名を放送してくれたら、と希望します。

Q16. 鳥取市のスポーツ施設について

あなたは鳥取市のスポーツ施設（体育館、球場等）についてどう思いますか（1つ選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) 満足	6	7%
(イ) どちらかと言えば満足	42	48%
(ウ) どちらかと言えば不満	17	20%
(エ) 不満	5	6%
(オ) 感心がない	14	16%
その他	3	3%
合計	87	100%



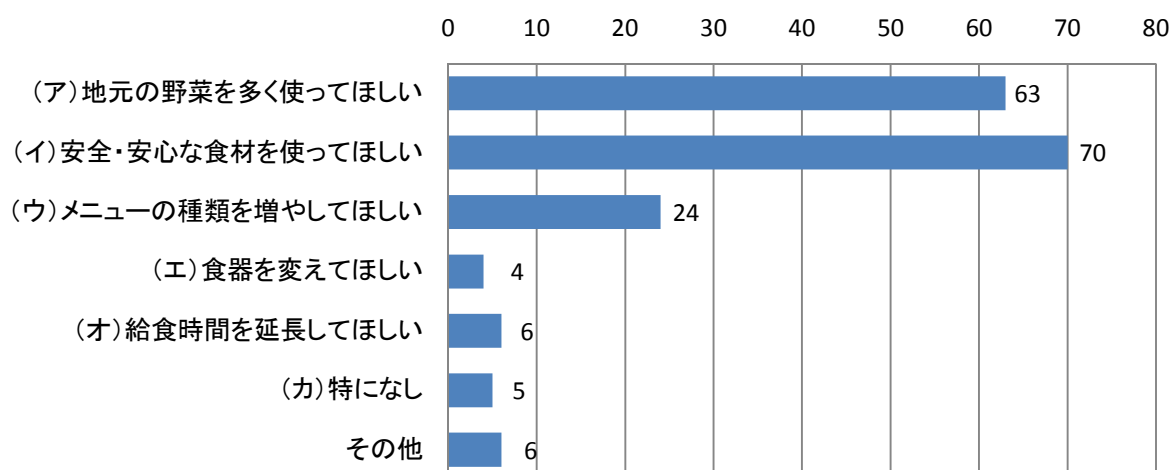
その他

- 最近利用してないので、わかりません
- 維持管理が非常に悪い。
- 充実していると思うが、使ったことがないのでわからない。

Q17. 学校給食について

学校給食について希望することはありますか（3つまで選択）。

回答	数	率
(ア) 地元の野菜を多く使ってほしい	63	35%
(イ) 安全・安心な食材を使ってほしい	70	39%
(ウ) メニューの種類を増やしてほしい	24	13%
(エ) 食器を変えてほしい	4	2%
(オ) 給食時間を延長してほしい	6	3%
(カ) 特になし	5	3%
その他	6	3%
合計	178	100%



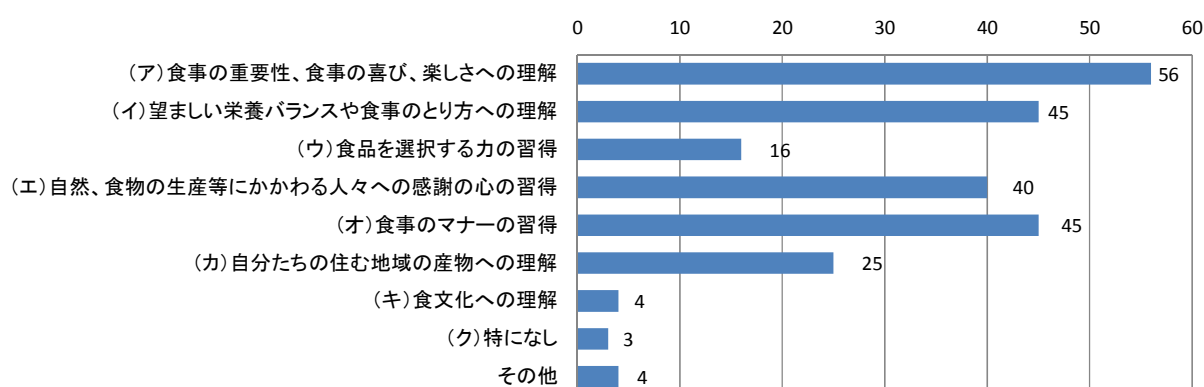
その他

- じげの料理や食材を使ったり、和食の献立で子供たちに食を知る機会をつくってほしい。
- 地元の商材を使用するのは良いが子供の味覚に合わないメニューがある為週1回おいしかったメニューとおいしくなかったメニューの統計を取ってほしい
- 子供のアレルギーに対する徹底。
- 転入前の学校では学校の給食室で調理していた。親としては、メニューを比べると今の方がバランスが考えられていてよく思えるが、子供が今の給食センターの方が味が落ちるといふ。また、安心・安全な食材を使うことを望むが、地元食材にこだわりすぎてか給食費が高い。全国的に所得平均が低い県であるにもかかわらず、年間の給食費がトップ3位内といふのはどうなのか。転入前の学校時より年間1万円以上給食費が上がった。地元企業や農家を支援することは大切だがこだわりすぎもよくない。
- デザートや果物が出る日がとても少ないと子供は言っていました。親がもらう献立表もわかりにくかったです。ご飯も女子には多すぎて男子には足りなかったようです。中学校では体格差がかなりあるので、同量のご飯を食べるといふのは無理かなと思いました。
- 鳥取県にも全国区の給食があります。交流や講習研修で、積極的に県全体に拡大し、おいしい給食の県になって、生徒の健康促進を図ってほしいです。

Q18. 学校給食における食育について

学校給食における「食育」について、あなたが希望されることはなんですか（3つまで選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア) 食事の重要性、食事の喜び、楽しさへの理解	56	24%
(イ) 望ましい栄養バランスや食事のとり方への理解	45	19%
(ウ) 食品を選択する力の習得	16	7%
(エ) 自然、食物の生産等にかかわる人々への感謝の心の習得	40	17%
(オ) 食事のマナーの習得	45	19%
(カ) 自分たちの住む地域の産物への理解	25	11%
(キ) 食文化への理解	4	2%
(ク) 特になし	3	1%
その他	4	2%
合計	238	100%



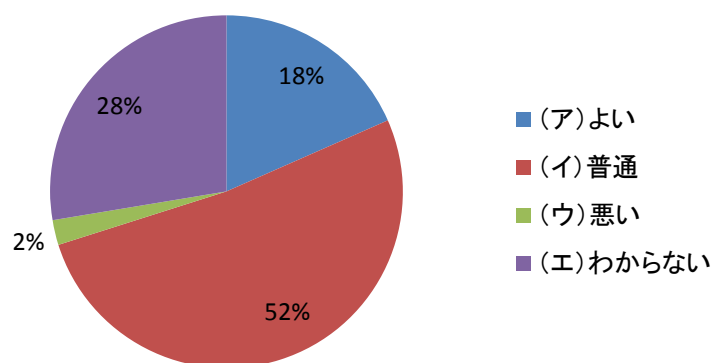
その他

- 親も巻き込む必要があるように思う。
- 地元の食物生産等についての学習
- 地元の食材を使ったメニューもあり、良かったと思います。
- おいしいが一番。後は自然と知るのではないのでしょうか

Q19. 文化財に関する取り組みについて

本市では、文化財の保護と活用により、郷土の誇りである文化財を次世代に継承し、歴史と文化の薫りに満ちたまちづくりの推進を目指しています。現在の文化財に関する取り組みについて、どのように思われますか（1つ選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア)よい	16	18%
(イ)普通	45	52%
(ウ)悪い	2	2%
(エ)わからない	24	28%
合計	87	100%



Q20. Q19 での評価についてのご意見

Q19 でのあなたの評価について、具体的なお意見があれば自由に記載してください。

(ア) よい

- これからも地域の文化や歴史を大切にして継承することが重要であると思います。
- 所有する文化財のPR、展示などを積極的に行ってほしい。

(イ) 普通

- 鳥取城跡が整備されることを楽しみにしています。
- 文化財マップなど郷土のことがわかる情報
- 現在の文化財の歴史等の学習や重要性を再認識し、将来の町づくりに反映する。
- 文化財の状況についてよくわかっていないのか実情かもしれません
保管されている文化財が一覧できるホームページの閲覧をして情報収集したいと思います。
- 特にありません。

(ウ) 悪い

- いろいろな所で貴重な文化財が放置されていると感じる。もっときちんと管理してほしい。例えば、市内各所にある歴史上の人物のお墓、とりぎん文化会館県庁前交差点側にある石碑など。

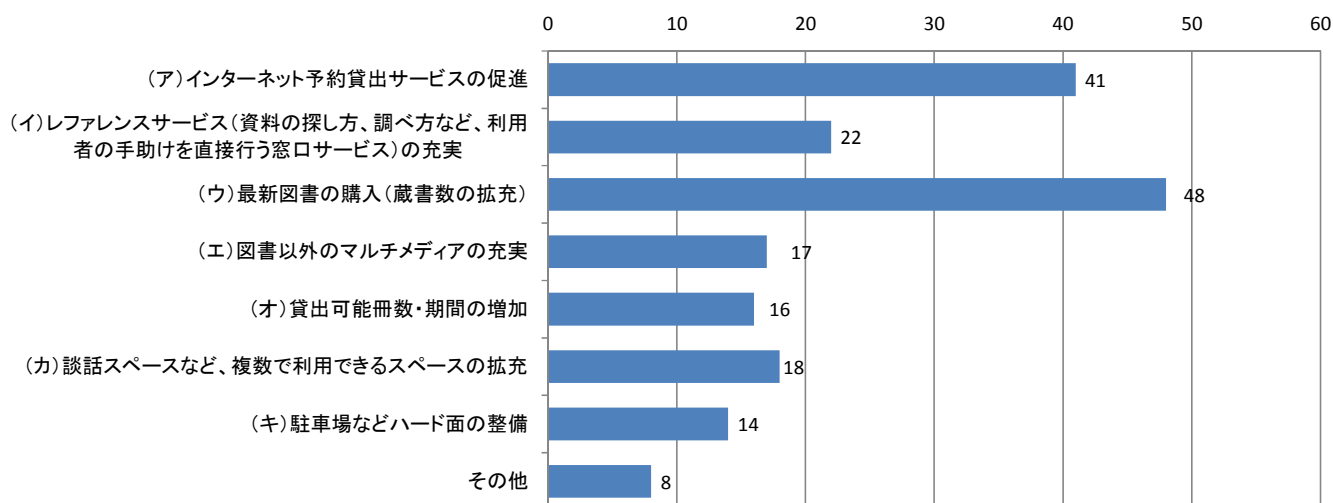
(エ) わからない

- 馬場町の岡崎邸は今どうなっているのか気になる。

Q21. 図書館の充実について

本市では27年1月から読書通帳の配布を開始するなど、図書館の充実に努めています。今後、より図書館の充実を図るためにどのような施策が必要だと思いますか（3つまで選択）。

選択肢	回答数	割合
(ア)インターネット予約貸出サービスの促進	41	22%
(イ)レファレンスサービス(資料の探し方、調べ方など、利用者の手助けを直接行う窓口サービス)の充実	22	12%
(ウ)最新図書の購入(蔵書数の拡充)	48	26%
(エ)図書以外のマルチメディアの充実	17	9%
(オ)貸出可能冊数・期間の増加	16	9%
(カ)談話スペースなど、複数で利用できるスペースの拡充	18	10%
(キ)駐車場などハード面の整備	14	8%
その他	8	4%
合計	184	100%



その他

- 座って見れるところを多くする
- 1) 電子書籍・電子雑誌を扱い、貸し出し中になる人気本の待ち時間短縮を図ること。
- 2) 読書離れする若者を引きつけるべく図書館を使うメリットを徹底的に訴求する事。
- 鳥取市の図書館に行った事がないのですが、小さな子供が楽しく読める(騒いでも良い)空間と静かに読書したい人を分ける。既にあるかもしれませんが・・・
- 返却場所を増やす
- インターネット検索の細かい条件検索ができること。他市町村図書館との相互貸借にかかる時間短縮など円滑化。自主返却機械の読み取りが悪いので、司書の方が結局機械で再度確認している無駄の排除。
- 地理的、時間的自由で30年以上公立の図書館を利用したことがなく、よくわかりません。
- 電子書籍の貸し出しシステムの検討。
- 本は購入するのでわかりません。

Q22. 鳥取市の教育全般についてご意見・ご要望

鳥取市の教育全般について、ご意見・ご要望等ございましたら自由に記載してください。

- 鳥取市の教育ビジョンをもって取り組もうとする姿勢は素晴らしいことです。組織的、継続的に取り組み、教育に携わる方々がいきと感じてとり組めるような環境を、造り上げることが重要だと考えます。
- 授業時間の確保のために、土曜日授業をしようとする動きがありますが、絶対にやめてほしいです。共働きの多い鳥取で、家族で過ごせるのは土日しかないのに、土曜日に学校があると、遠出しにくくなります。学校の勉強以外にもいろんな体験をさせてやりたいと思っているのに、たった3時間の授業と引き換えに、失う機会が大きいです。
- 短期的に成績を上げて成果を出す取り組みの為、民間の塾との連携（公的資金負担）など、藤原和弘氏の取り組みで成果を上げているものを先行的に取り入れて、教育レベルが上がらない負の連鎖と言われるものが鳥取では解消していると全国PRしたいものです。なので実績・成果を早く出して、目にモノ見せてほしいと思います。
- 学校任せでなく、PTA活動に親が参加したくなるような体制というか方法はないものではないでしょうかねえ。親の役員やりたくない感が、ひどいです。
- 次代を担う子供の育成にもっと力を入れるべき
- 先生たちはいつも忙しそうで、子どもたちにちゃんと向き合っているのかなと案じています。いいことはものすごく発信したがるけど（当たり前か）、都合の悪いことは隠したがる印象。いいことも、悪いことも公にして学校と地域、保護者が一緒に考えて行けたらベストとかがえる
- 鳥取の教育についてももっともっとアピールすることができれば良いですね。
- 児童生徒の健全な成長のためには担当教師の影響が一番大きい。教師の人格、資質の向上により一層努めて頂きたい。
- 特別支援学校は専門性があるので、先生の異動については格別の配慮が必要。教育委員会の研修(視察)のために学校内での徹底的な練習など先生のための教育になりがちなことの排除。
- 市民に情報を公開する。
- 正直、鳥取市は熱心だと思う。学校を通じて宿題、行事など強制的なことが多い。週末に何かと行事を入れてくる。個人的に週末は家族や個人の時間を大切にしたいと考えているので、もう少しバランスを考えてほしい。
- 開かれた学校にもっとなればと思います。地域との連携 学童保育の充実などが必要と考えます。
- 教科書謝礼の件が取りざたされていますが鳥取県でも31名の方が金品を貰われていると報道されていますが、鳥取市としてはどのような対応を考えておられますか。教育者にこのような方々がおられるということは、とても残念です。他にも平気で不正をしているように思います。鳥取市職員の方々が分別のある対処ができることを望みます。
- 特に ①夢を持てる子供 ②人のことを考える子供 ③自立性のある子供 を育てる教育をしてほしい。
- 学校の印象は、校長先生のお人柄でずいぶん変わるものだと実感しました。全般的に真面目でおとなしい印象の先生ばかりで、参観日や学園祭なども活気がありませんでした。変わろうとする芽はつぶして行かれるのでしょうか？
- マスコミで知見する「学校内でのいじめ」では、教委サイドでの保身、責任逃れの対応が気にな

る。鳥取県内、鳥取市内ではそういうことがないように願いたい。教職者としての誇りと人間愛を持った教育に当たって戴きたい。

- 教育の重要性はいうまでもないことですので、地道に継続して行っていくことを要望します。
- 親の仕事や年収などによる教育格差が広がらないようにしてほしい。
- 共働き世代も多いため、放課後に子どもが安全に過ごせる・学びの出来る環境の整備を支援して欲しい。
- 学ぶことが楽しく感じられるような体験を沢山与えて欲しい。(各種専門家による講義など。先生以外の職業を知り、各専門家から教えて貰う。)
- 良い先生・信頼できる先生を育てて欲しい。
- 安全に登下校できる環境づくりをして欲しい。少人数の学校だと、一人での下校も見かけるため、犯罪に巻き込まれないか心配になるから。
- 子どもから高齢者までが繋がっている地域づくりの仕組みを進めて欲しい。核家族化や高齢者の施設生活が進む中で、子供が高齢者や障害者・認知症の方と日々に関わる機会が少なくなり、理解が乏しいように感じるから。小さい時からいろんな人と接し、コミュニケーションスキルや思いやりの気持ちが育つように臨みます。
- ふるさとを想う子どもに育てるには、鳥取の歴史、文化を学ぶ機会を増やし、鳥取を誇りに想えるような教育も充実させる。
- 市が地域として広くなりすぎていて、格差がある(ありすぎる)中で平等な意見を出しにくい。まとめにくいのでは。私の年代としては非常に満足しています。
- 市内の各小学校による格差をなくしてほしい。たとえば、体育館シューズがある学校とない学校、長袖の体操服がある学校とない学校、古い校舎と新しい校舎などできるだけ統一して欲しい。それか、校区外の学校でも選択してえるようにしてほしい。
- 地域全体で、子どもを育てていくという事が出来なくなっていると思います。周りの人達と共存していくという気持ちを子ども達にも教えていったほうが良いと感じます。
- 児童の学力向上の為の取り組みを引き続き推進願いたい。
- 去年の強風警報での休校
先日の雪警報での休校
全学校ではありませんが、登校に全く支障があるようには思えませんでした。遊びに出かける子もいました。朝の状況で遅れて登校でもよかったのではないかと思います。危機管理に敏感な委員さんがいらっしゃるのか気になります。数年前よりひどくなっています。
- 中学生以下の教育体制については、地域の保護と本人たちの教育環境(統合できないなどの費用面で)が二律背反となり、厳しい選択が求められるようになるかと思っています。私にはどちらを重視すべきかの判断がつきません。ただ、空きが生じつつある、学校施設の有効活用として、生涯教育などの場所としての活用、公民館業務の移転など無駄にしない政策は必須と思われます。
- 特になし